

ほとんど知らなかったグッズと人に出会える本

2014年12月15日

企画・編集 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ
写真 ヨシダダイスケ
コピー 永野香里
デザイン 有限会社キーウエストクリエイティブ・植田朋美

発行 浜松市健康福祉部 障害保健福祉課
〒430-8652
浜松市中区元城町103-2
TEL:053(457)2864

印刷・製本 中部印刷株式会社

※本誌掲載の記事・写真の無断転載・使用を禁じます。

ほとんど 知らなかった グッズと人に出会える本

一 編集後記 一



取材をしてみて、それぞれに色んな思いや物語が転がっていました。大きいものや小さいものが、話のちよつとしたところにも。まだまだ身の回りには、「知らなかった」ことが色々あります。 /水越



今回の取材で、たくさんの素敵な「知らなかった！」に出会いました。何より、そこに関わる「人」たちの魅力的なこと！このガイドブックをきっかけに、ぜひこういった「人」たちとの出会いを広げてみてくださいね。 /加藤

話し足りないことが沢山ある。スパイシーなカレーにまつわる人々のこと。お金を渡した途端に走っていく彼のこと。記事ひとつひとつに、紹介しきれなかった物語が詰まっています、話したくてたまらない。 /夏目



私が取材先の施設で感じたのは凜とした空気と、屈託の無い笑顔でした。職員さんと施設利用者さんとの呼吸には暖かみが見えます。つまりは、人と人が共に何か起こしている場合は「ほっとけないものがあるな」と、ひたすら感心した次第です。 /佐藤



集中して作業に取り組む姿や休憩中に微笑む姿、時折見せるいたずらな笑顔など、その人となりが見えてとてもよかった。また、取材してみて緊迫感よりも笑が多い作業所だった。 /宮澤



同じ『福祉』の現場でも、働いている人や、目線や関わり方は本当に様々で、興味深かった。そこにしかないもの、『あなたとわたし』の何でもない日常の様子を、楽しみに話す職員さんの姿がとても印象的だった。 /山下

わいわいガヤガヤ、取材先はいつも活気がありました。声を掛けるのもためらうような一生懸命な指先はキビキビうごいて楽しそう。恥ずかしがりながらも見せてくれた歌手のキーホルダーをいっぱいにつけた手には、仕事のあとが沢山ありました。 /尾張



それぞれの方向性で、自分以外の人の生活に同じように心を砕く人たちを知ることができて良かった。真剣なのにゆるい雰囲気になるのも彼らの良さで、凝り固まっていない態度がどこかほっとさせてくれると思った。 /小林



取材先へ行く時、「施設」に行くという感覚は無かった。カフェに行く。職場を見学する。遊びに行く。そこにいたのは真面目に仕事をする人やおしゃべりを楽しむ人だった。いつだって彼らはくっつく。私と彼ら、変わらないじゃん。 /庵原





「ほとんど知らなかったグッズと人に出会える本」について、
みなさまのご意見・ご感想をお待ちしています。

浜松市 健康福祉部 障害保健福祉課
✉/syoghuku@city.hamamatsu.shizuoka.jp
TEL /053(457)2864 FAX /053(457)2630



★Facebookページでも情報を発信しています！

浜松市障害保健福祉課「まるさら」

<https://www.facebook.com/hamamatsu.marusara>

